

事務事業名 高齢者ネットワーク推進事業費補助事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：1096

施策：	10	高齢者福祉の充実 ~地域包括ケアシステムの推進~	財務コード	01030102-19-00
基本事業：	01	社会参加と生きがいがづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	地域活動等に参加している高齢者の割合 生きがいを持っている高齢者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	高齢者福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）					
筑紫野市老人クラブ連合会及びその会員			筑紫野市補助金交付規則に基づき、筑紫野市老人クラブ連合会に対して、補助金を交付し、活動を支援するもの。  【根拠となる要綱等】 ・福岡県高齢者ネットワーク推進事業費補助金交付要綱第2条  【手続き】 県において県内単位老人クラブ数等を積算基礎とし補助額の決定を行う県から市に対して補助金額の決定通知 市老人クラブ連合会から申請 交付決定 市老人クラブ連合会へ支給  【支援対象となる活動】 単位老人クラブ等において行う子どもの見守りや地域の清掃活動、愛の一声運動として高齢者宅を訪問し行う見守り活動など					
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）					
高齢者が、役割を持ちながら、支え合いのための各種取り組みを通じて社会参加していくことで、自身の生きがいづくりや介護予防につながる他、高齢者や老人クラブが、相互に助け合う地域づくりを担うことができる。								
成果指標名称	単位	01年度実績	02年度実績	03年度当初	04年度要求	05年度計画	06年度計画	目標
支援対象者数	人	255	603	200	200			200
訪問延べ回数	回	2,725	2,957	2,000	2,000			2,000
5. コスト								
事業費	計	千円	95	91	100	100		98
	国	千円	0	0	0	0		0
	県	千円	0	0	0	0		0
	地方債	千円	0	0	0	0		0
	その他	千円	0	0	0	0		0
	一般	千円	95	91	100	100		98
正職員人工数	人工	0.01	0.01	0.01	0.01			
正職員人件費	千円	81	80	79				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	176	171	179	100			98
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）								
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	【状況】支援対象者数、訪問延べ回数ともに大きく増加している。 【原因】本事業は連合会が推進している3大運動の「友愛活動」にあたるため、とくに力を入れて取り組んでいることが影響していると考えている。令和2年度は、コロナ禍で定例会は活動自粛をしているが、感染予防対策をして個別訪問したことが影響している。 【その他】独居高齢者が多くなっているなか、老人クラブ独自の見回り活動として、高齢者の安否確認、高齢者の話し相手となるなどを行い、高齢者が高齢者を相互に助け合う地域づくりの一役を担っている。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）								
対象動向	維持	類似事業	なし					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし					
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし					
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし					
成果向上余地	中程度							
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								
市及び連合会では、地域包括ケアシステムにおける生活支援にあたる既存の取り組みのひとつとしてとらえており、今後、同様の活動をしている多様な団体との整合性や連携について、地域包括ケア推進会議やつくしネット筑紫野等を活用しながら検討していく必要がある。								
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄				
県が「元気高齢者が要援護高齢者を支える」社会の実現を目指して、従来から各老人クラブにより実践されてきた高齢者相互支援活動の内容を充実するため、平成7年から実施している。高齢者の増加によって、元気な高齢者の社会参加を促していくことが重要になってくる。								